

平成

30

年

かごしま

あいら

市議会だより



No.30 12月定例会 平成30年1月31日発行

補正	予約型乗合タクシー試験運行	4
条例	健康チケットあいあい	6
一般質問	市政を問う20人	8
議会と会	あなたの声を市政に	18

創刊

30

号



▲タイトルの背景は市政施行5周年時に園児、小・中学生から寄せられたイラストです。

来予想図

私たちの議会はこうなる

始良市議会は、平成30年という節目の年を議会だより創刊30号というキリの良い形でスタートすることができました。

これからも市民に開かれた議会を目指し、より読みやすく、よりわかりやすい広報活動を心がけてまいります。

「改革」を伝えてきた議会だより

積み重ねてきた30号までを振り返ってみると、誕生間もない始良市議会が「市」議会としての機能や役割の確立を求めて当初から「改革」に取り組んできたことがわかります。

合併直後には議会の責任と役割を明文化する「議会基本条例」の検討・制定に取り組みました。3年目には市民との意見交換の場を求め、「議会報告会（議会と語る会）」を開始しました。

この間、議会だよりはコンテンツでかつて日本一になった旧始良町の編集方針をベースにしてき

ました。

そのような流れをくみつつ、新市としての一体感醸成にも貢献しようとして、クイズ形式で旧3町の名所を紹介するなどの試みも重ね、市議会としての新しい広報活動にも挑戦してきました。



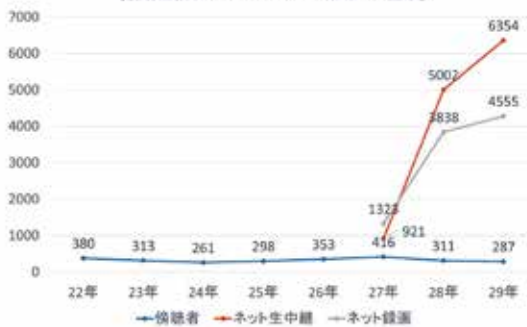
▲議会と語る会

議会だよりも「見える化」推進

5年目以降も「改革」は続きました。特に注力してきたのは議会の「見える化」です。

平成27年に始まった本会議のインターネット配信は、生中継・録画ともに年々視聴者が増えています。

【傍聴者数(人)とネットアクセス数(回)の推移】



一方で、議論の「見える化」にも着手してきました。議案審査にあたってまずは論点を整理し、それに基づいて議員間討議を行うようになりました。これにより、最終的になぜこのような判断が下されたのかわかりやすくなりました。

このような議会の「改革」を経て、議会だよりも単に採決結果を掲載するのではなく、議論の本身や討論内容まで掲載し、「見える化」を進めてきました。

始良市議会の「未来予想図」

議会の「改革」はこれからも留まることはありません。(※1)災害時対応の議会BCPや議会として任期中になすべきことを明確にする(※2)ミッション・ロードマップづくりなど、まだまだ課題は山積みです。

今、議会がもっとも注力しているのが二元代表制の一翼としての基本的な力を身に付けることです。それは政策立案・提案能力を高めることにはかなりありません。

8年間の「改革」を経て、議会はようやく修正案の提案と政策提言ができるようになりました。これは「改革」の成果と言えます。

しかし、残念ながらまだ議会・議員発議による市民のための条例を生み出せていません。

始良市議会のこれから

未来予想図を描くためには、この基本的な力を身につけなければなりません。



議長 湯之原 一郎

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

平成30年が市民の皆さまにとりまして、より良い1年となりますよう心からご祈念申し上げます。

本年は合併から8年が経過し、市長選挙と市議会議員選挙が執行されます。4月15日告示、22日投開票です。4年に1回市民の皆さまが市長や議員に意思表示を行う大切な機会です。気懸りは選挙のたびに投票率が低下してきていることです。ぜひ、皆さまの大切な1票を行使してください。

この4年間を振り返りますと、議会自ら制定した「議会基本条例」を具現化し、市民の負託に応え、市民のために機能する議会のあり方を追い求めてきた4年間であったと考えます。

本会議の様もインターネット生中継により公開されています。又、録画配信での視聴もできるようになりました。

議会と語る会も開催回数が10回を超え、多くの市民の皆さまとの貴重な意見交換の場となりました。

政務活動費について、議会改革推進特別委員会を中心に真剣な論議が交わされました。

政務活動費は議会の機能を高め、活性化を図る上で必要であり、パブリックコメントを経て3月議会で議員発議により条例制定を目指します。

先述しましたように、選挙の執行により議会の様相にも変化が出てくるでしょう。しかしながら、議会の果たすべき役割は何ら変わることはありません。

今後とも市民の代表として機能、分かりやすい議会を目指して参ります。

市民の皆さまのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。新年のご挨拶とします。

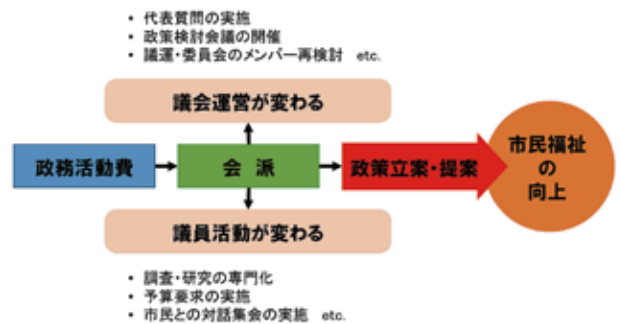


議会では今、政務活動費の導入を検討しています。これにより調査・研究が活発になり、政策立案・提案が行われるようになることを想定しています。しかし、政務活動費の導入はこれだけではなく、実は会派が生まれることが重要なポイントです。会派が生まれると、まず議会運営が変わります。

政策集団「会派」が議会を活性化させる

例えば、代表質問や会派間での政策検討会議の開催が想定されます。議員活動も変わります。個人では難しい予算要求や市民との対話集会なども容易になってきます。政務活動費を用いた政策集団としての会派が競い合うことで、議会が活性化し、政策提案がなされ、ひいては市民福祉の向上につながる、これが始良市議会の未来予想図なのです。

【始良市議会の未来予想図】



(※1) 非常時に議会の機能維持を図るため、組織体制や議員の役割、行動方針などを定めた業務継続計画。
(※2) 任期中の目標達成のための問題点と課題を示し、優先順位をつけて、時系列で表現したもの。

「予約型乗合タクシー」導入を検討

新留区域で試験運行

通行ルート



利用方法



▲利便性の向上が期待されます

予約型乗合タクシーとは？
 タクシー車両を使って、路線バスのように乗り合いながら運行する公共交通です。
 予約により、自宅とまちなか乗降地の間をドア・ツー・ドアで運行します。

全ての議案と採決結果は、始良市ホームページをご覧ください。

12月議会の議案	13件
請願	1件
発議	1件

12月議会（第4回定例会）
 会期／11月24日～12月15日
 22日間

その他

- 温泉、はり・きゅうチケットが拡充されます。（詳細は、6ページ）
- 請願1件を不採択としました。（詳細は、7ページ）
- 「議会と語る会」を開催しました。（詳細は、18ページ）

補正

補正予算額 **4億1252万円**
 （予算総額298億5800万円）

- 予約型乗合タクシー（デマンド交通）の試験運行が行われます。
- 小山田保育所に新たな遊具が設置されます。
- 宇都トンネルの早期完成に向けて鹿児島市と協定が結ばれました。（詳細は、5ページ）

補正

暮らしやすいまちづくり予算

県内一暮らしやすいまち
「始良市」をめざして
身近な事業を
ピックアップしました。

予約型乗合タクシー試験運行

16万円

他の地域でも検討を！

蒲生地区の新留区域を
対象に予約型乗合タク
シー（デマンド交通）の
試験運行を平成30年2月
から、2か月間タクシー
事業者に委託するもの
です。

質疑 自宅まで迎えに行
くのか。
答弁 ドア・ツー・ドア
ということで、玄関先ま
で迎えに行く計画です。

質疑 試験運行実施後の
流れを示せ。

答弁 試験運行終了後、
公共交通会議を開き結果
について審議します。了
解が得られれば10月から
本格運行したいと考えて
います。

【主な討議内容】

○試験運行の結果次第
で、他の中山間地域
でも、予約型乗合タ
クシーの導入を検討
するべきである。

小山田保育所の遊具購入

87万円

どのような遊具？

小山田保育所の遊具撤
去に伴い、新たに遊具を
購入するものです。

質疑 どのような遊具を
購入するのか。

答弁 移設可能なもので、
子どもが中に入れる「グ
ランドハウス」と「ぞう
さん滑り台」、子どもが
一人ずつ乗って遊べる遊
具を考えています。

【主な討議内容】

○9月議会で小山田保
育所を現地調査した
時に、ほとんどの遊
具が壊れて使えずに
危険な状態であり、
遊具整備を指摘して
いたことがいかされ
た。

○安全に遊べる環境が
整い、一定の保育の
公平性が保たれるこ
とを評価する。



▲新しい遊具がくるよ♪うれしいな♪ (小山田保育所)

明確な説明を！

宇都トンネル整備は、
鹿児島市との境界までを
本市で工事することにな
りました。そのための負
担金から工事請負費への
予算組替えです。

質疑 本事業は、鹿児島
市に工事を委ねるとされ
ていたが、今回の分割工
事について明確な説明を
求める。

答弁 毎年、鹿児島市と
年度協定を結んで実施し
ています。
昨年度は、鹿児島市で

宇都トンネル整備(予算組替え)

1億9606万円

発注して本市は負担金を
支払うことになっていま
した。

鹿児島市の工事の遅れ
があり、早急に開通する
ため8月から協議に入り、
10月には早期に完成を目
指すために、双方から
掘っていくことで合意し
ました。

【主な討議内容】

○議会として相手のあ
る事業をチェックし
たり、評価するため
の技術が必要ではな
いか。



▲早期完成が望まれる宇都トンネル

条例



▲バスやタクシーにも利用できます

健康チケットあいあい 温泉、はり・きゅう等 の利用拡充

始良市では、これまで70歳以上の高齢者の方へ福祉サービスとして温泉はり・きゅう、マッサージ施術費を助成する利用券を交付しています。今回、利用者の方から要望の多かった移動手段についての検討がなされ、市内のバス、タクシーを利用した際もチケットが利用できるようになり、高齢者のひきこもり防止や社会的孤立の解消に期待しています。

また、健康寿命の延伸として、プールなどの健康増進施設にも利用できます。

その他の条例
人事院勧告に伴う市職員
の給与、市議会議員の
期末手当等、市長等の給
与、教育長の給与に関す
る条例の改正がありました。

可決
賛成23名
反対0名

利用券の名称は『始良市健康・長寿支援チケット「健康チケットあいあい」』です。利用は平成30年4月からの予定です。



▲ジムで健康増進（総合運動公園）



▲補助率が下がると道路整備が進まない

道路は国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設です。現在、道路整備事業は「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」によって補助率が嵩上げされています。始良市でも様々な事業に取り組んでいます。補助率が低減すれば地方自

治体にとっては交通基盤の整備が進められなくなります。地域の活性化が図られるよう補助率の嵩上げ措置については平成30年度以降も現行の制度を継続するよう議会として国へ要請するため、意見書を提出しました。

議 発

道路整備事業の補助率嵩上げの継続を

県による山田橋の解体撤去を留保し、始良市による旧山田橋の管理を検討すること等についての請願書

請願者／山下 徹志

紹介議員／谷口義文・吉村賢一・法元隆男

請願

不採択

請願の趣旨

90年にわたって地域住民の足となり、凱旋門とともに親しまれてきた旧山田橋が新山田橋の架設に伴い、12月にも解体工事が始まると聞き及んでいます。しかし、旧山田橋が解体されることで様々な問題が論議されず、未解決のまま解体されることは禍根を残します。旧山田橋を人道橋として残し、凱旋門と一体のものとして山田地域の歴史遺産として残すことが住民の安全と地域の活性化につながると思われま

す。

① 解体撤去を留保すること
② 始良市が将来にわたって管理すること
③ 歴史遺産として登録すること

賛成討論 吉村 賢一
山田橋は集落間をつなぐ重要な通行路であり、様々な交流が続いている。新山田橋は車優先、5%勾配できついカーブになっている。東側には歩

道がなく、高齢者には通行の危険が増す。

想定外の洪水が強調されるが、単純に壊すことは安全歩行への配慮がない。

賛成討論 法元 隆男

新山田橋は片側歩道であり、反対側から横断するには安全性に問題がある。

る。旧山田橋の多額の解体費を補強のための整備費用に充て、安全性を確保した上で人道橋として残せば、今まで担ってきた地域住民への役割も果たせる。

採決結果

賛成6、反対17で不採択でした。



▲昭和4年に作られた山田橋

請願・陳情は誰でも提出できます

陳情者の様式

- 宛先 市議会議長
- 提出者の住所・氏名・電話番号・提出年月日 (連名の場合、代表者)

請願書の様式

○様式は陳情と同じですが、紹介議員が必要です。

※その他、提出にあたっては、議会事務局へお問い合わせください。

※様式は始良市のホームページにも掲載されています。

平成 年 月 日

始良市議会議長 様

請願または陳情者
住所
氏名
電話
紹介議員 (陳情書には不要)
氏名

○○○に関する請願または陳情書

請願または陳情の要旨

1. ○○○○
2. ○○○○

請願または陳情の理由
○○○○○○○○○○○○○○○○○○

観光振興

遊休地や未利用地の活用

市長／「あいら」を発信するポイントの一つ



和田 里志



和田 外部電源を利用して、RV車で旅行を楽しむ人たちが積極的に迎え入れ、交流人口の増加対策として、加治木港町の未利用地、龍門滝温泉付近など自然環境を活用できないか。

市長 本市の豊かな自然環境を活用した観光施策を講じることは、「あいら」を発信するポイント



▲RVとは「Recreational Vehicle（レクリエーション・ビークル）」の略語で「休暇・楽しみのための自動車」を意味しています。

の一つになる。具体的には、キャンプや自然散策などに対応できる施設の整備であり、今後、現存施設や未利用地等の活用について検討していきたい。

公有財産の管理と有効活用

市長／貸付売却処分を予定

和田 貴重な財源を市政運営に生かすため、その取り組みと考え方を示せ。

市長 本年策定した「始良市未利用財産利活用方針」に基づき、公有財産

管理委員会に諮り、今後土地利用の見込みのない土地や施設について、貸付や売却処分を予定している。

を問う 一般質問

職員

管理体制と人事

市長／本人の意向等に配慮



湯川 逸郎



湯川 長い間行政職員として培ってきた貴重な人的資源が大切にされているか懸念される。

合併以降、早期退職した職員は何人か、職名ごとに内容を示せ。

市長 平成22年度から28年度までに、定年前に退職した職員数は、死亡退

職3人と分限懲戒退職1人を除いて36人となっている。職名別では、一般行政職30人・消防職1人・技能労務職3人・医療職2人となっている。

本人の意向等に配慮して対応している。

湯川 過去に水道事業部・総務部・市民生活部

の次長、また総務部・建設部・教育部の課長など、定年を待たずに早期退職されたと聞いている。

これらは人事管理面において問題はなかったか。

市長 普通の退職願を出される場合は、一身上の都合として提出されている。

その他の質問

○職員資質向上と対策
○まち・ひと・しごと創生総合戦略



▲始良市役所庁舎

市道

沿線の田畑の雑草除去

市長／改善に努める



田口 幸一



田口 バス通りの市道沿線田畑に雑草が茂り、環境上も見苦しい。実地調査をして地権者

と協議し、早急に刈り取って欲しいがどうか。市長 市民からの通報等で、雑草や竹木が繁茂するなどして、周辺の生活環境を著しく害していると認められる敷地等、管理者に対し美化条例に基づき指導を行っている。



▲耕作放棄地

市政

20人が

防犯

イオンタウン周辺の夜間照明

市長/検討したい



森 弘道



森 イオンタウン周辺の高速道路下のボックスカルバート内の夜間照明について、防犯の意味から必要と思うかどうか。市長 周辺道路は県道・市道・農道の各種があり、現在道路の種類を見直す協議をしており、今年度内に市道認定の手続きを行う計画である。夜間照明施設の設置については、地域自治会の要望も含めて検討したい。

消火栓等の整備と訓練

市長／訓練を指導

森 市民の生命・財産等を守る身近な消火栓や、防火水槽の整備と初期消

- 無形民俗文化財の支援と芸能大会
- 始良市の宣伝

火の訓練等について問う。市長 消火栓や防火水槽については、国の基準により設置しており、平成27年度の充足率は86・4%である。訓練について28年度は5自治会、29年度は2自治会の要望により消防署や消防団員が初期の消火訓練の指導を行っている。



▲長さ7mのボックス内は暗くて怖い

小山田保育所

今後の整備計画は

市長／実施計画書に沿い運営



本村 良治



本村 今後の整備計画を公共施設再配置と関連づけて具体的に説明せよ。

市長 これから本市の公立保育所のあり方やその将来像について協議をし、提言書を提出していただく予定である。
今後、提言書の内容を尊重し検討を進めるなかで、公立保育所等の運営



▲整備が待たれる小山田保育所

に係る実施計画書を作成し、それに沿って運営整備を行っていく。

新庁舎建設の費用

市長／先行自治体を参考に

本村 建設費用の積算根拠と基本設計の構想について具体的に説明せよ。

市長 本庁舎の建設費用については、先行自治体の建設単価から消費税の改正や近年の建築関係経費の上昇を考慮し、1㎡当たり50万円と設定した。基本設計において、必要以上に華美な装飾はせず、できる限り建設費用を抑制していき始良庁舎2号館などの既存施設の有効活用も併せて検討していく。

その他の質問

○学校現場の働き方改革

用水路改良等の整備を図れ

市長/改修工事を実施する

農業振興



堂森 忠夫



堂森 加治木・川床地区の水田地帯は、3か所の隧道があり、自然災害等で毎年、入口には土砂の堆積被害などが多い。

隧道や用水路の改良等を事業化し、農業振興の整備を図れないか問う。

市長 隧道は工法的に対応が難しいが、県営農村振興総合整備事業で、開水路部分の約130mの



▲木田ポンプ場前の市道改良を

改修工事を実施する。井ぞき改修は事業実施に向けて調整を行い、土砂堆積防止を含め調査を実施する計画である。

木田ポンプ場前道路

市長／整備の検討したい

堂森 木田ポンプ場の前から高速道路下までは、幅員が狭く法面は崩壊し未整備である。

水稲収穫の完了した今、拡幅等を図れないか。

市長 ポンプ場付近の約50m区間は幅員4m未満

である。

沿線に千鳥公園や保育園があるので、事業費の算出や通行量を考慮しながら、整備の検討を行いたいと考えている。

その他の質問

○加治木地区の活性化

○(仮称)永原団地建設計画

空き家 対策を急げ

市長／行政代執行も考える



吉村 賢一

吉村 魅力的な空間整備に関連して、中山間地域の空き家に残る実のなる木の伐採は進んだか。
また、居住者リターン呼び水になりえたか。
市長 呼びかけるが、現状は伐採に至っていない。移住先としての活用については、建物の仕様が好みに合わず、リフォーム等の負担感が移住する想



▲将来、市に寄贈を考えている岩原の元郷士の屋敷

いより大きい傾向にある。**吉村** 空き家が老朽化したまま残っている。火事や台風等、災害を想定すると早期の対策が必要であるがどう対処しているか。

市長 11月11日県内の自治体では初めて、空き家の個別相談会を実施した。放置に近い危険な空き家は、市街地を中心に行政代執行も考えていきたい。

歴史的建造物

市長／補助金制度等を調査・研究

吉村 地域の魅力と資源を活かした観光の振興として、歴史ある建物が無

償譲渡されるなら市として修復保存を考えられな
いか。

また、現状において価値ある建物や構造物の修繕が困難な家主に対する補助制度を検討できないか。

市長 市指定文化財については、教育委員会が行う。

文化財でない歴史的建造物は必要かつ重要な地域のみちづくりを進めると共に、補助金制度等についても調査・研究していきたい

その他の質問

○子育て支援の環境

環境整備

配慮が必要な人への対応

市長／アプリやカードを検討



新福 愛子

新福 増加傾向にある外国人や障がい者など、配慮が必要な人の救急搬送や災害時の対応について環境整備を図れ。

市長 外国人からの通報に備え、5か国語のガイダンスを流す用意があるほか、無料翻訳アプリの活用も進めている。

新福 多様な障がい者が周りからの助けを求めやすくなるため、ヘルプカードの配布を検討できないか。

市長 有効な手段として認識している。
現在、県内で統一したカード作成を、各社協から県に要望している。



▲「ヘルプマーク」の普及でやさしい社会を

夜間中学の設置

教育長／調査・研究していきたい

新福 戦争や貧困などの事情で学校に通えなかった人や、学び直しの場として夜間中学の設置が全国に広がっている。本市での設置を実現できないか。

教育長 現在、九州・県内での設置はなく、問い合わせもない。
今後、他市町の現状把握に努め、調査・研究をしていきたい。

その他の質問

○新庁舎建設に市民が安心して相談できる環境整備

乗合タクシーの運行

事前予約制

市長／試験運行を実施する



竹下日出志



竹下 霧島市では、事前予約制の乗合タクシーにより、住民の交通手段を確保している。

本市でも、民間のタクシー会社に委託して運行する考えはないか。

市長 今年度中に蒲生地区の新留区域内で試験運行を2か月間実施する。

試験運行により、中山間地域の問題解決や、よ



▲民間のタクシー会社に委託運行する「デマンド交通」

り利用しやすいものへ改善し、予約型乗合タクシーを順次導入する。

寄合い場の子ども食堂 市長／関係団体と連携を図る

竹下 子ども食堂は、子どもだけでなく、高齢者や働く世代など、だれでも参加できる地域の寄合いの場所である。

本市独自の「にこにこ食堂」として提供する考えはないか。

市長 だれもが参加できる子ども食堂や高齢者のサロンで、子ども達と会食する機会を設けている。今後も、子どもを見守り育てる活動が広がるよう関係団体等と連携を図っていく。

その他の質問

- 災害に対応する整備
- 投票率向上の取り組み

物産館

山田地区に設置を

市長／候補地区に入れて検討



萩原 哲郎



萩原 伊集院蒲生溝辺線も道路が改良中であり、ますます交通量も増加していく。

山田地区住民が少しでも買物等ができ、賑わいを創出できるように物産館設置の考えはないか問う。

市長 物産館候補地は西之妻地区に決定しているが、イオンタウンがオープンしたこと、建設計画を延伸している。今後の物産館用地選定委員会、山田地区も、候補地に入れて検討する。

鹿児島マラソンへの提案と相談 市長／関係団体と連携を図る

萩原 鹿児島マラソン上位200名や3時間以内の選手は、自動的に出場権を与える提案はできないか。

また、現在0人である始良市民枠について、50〜100人は欲しいと思



▲物産館設置候補地を望まれる山田地区

うが、相談できないか問う。

市長 大会の運営に際して、本市も大きな関わりを持っており、フルマラソンコースの折り返し地点が豊富地区となっていることから、多くのボランティアスタッフや応援団も携わっている。本市も協力市として、実行委員会や運営委員会の場で伝えていく。

その他の質問

- スマートインターチェンジ及び周辺の歩道設置

いわつるぎ
岩劔神社

トイレの設置

市長／整備を検討する



上村 旧町時代にも質問して、必要性を認めたが、その後の改修計画を問う。

また、まち歩きコースとして岩劔神社周辺にトイレ設置は考えないか。

市長 整備計画は、市道沿いの岩劔川が砂防指定区域であり、振興局と事前協議をしている。

その後、県道について協議を予定している。

まち歩きコースのトイレ設置は、関係者と協議に関する調査と研究を重ね、公衆トイレの整備を検討する。



▲岩劔神社

公共バス時刻等の全戸配布を

市長／関係機関と協議する

上村 利用者から公共交通機関の時刻がわからず利用しにくい等の苦情を聞くが、市内のバス時刻等を調査し全戸配布は考えないか。

市長 公共交通の総合時刻表は、コミュニティバス・路線バス・高速バスの時刻や停留所の位置、周辺施設等を掲載した全40ページの小冊子を計画している。

JRの時刻情報も掲載し、市地域公共交通会議で作成して全戸に配布する計画である。

SNS活用の効果検証

市長／若者に評価されている



渡邊 本市のホームページは、目的のページを探しにくいという意見がある。どう対応するか。

市長 検索については課題であり、スマホ・タブレット等も対応したウェブ設計で、31年度にリニューアルを検討している。

渡邊 SNSはどのようなように活用し、効果をどう検証しているか。



▲検索しやすいホームページへ

中学生の子ども医療費は自己負担無しに

市長／総合的な子育て支援策で調査・研究する

証しているか。

市長 フェイスブック、ライン、インスタグラム、YouTubeを活用している。一例として新規採用試験情報をライン経由で発信しており、若者から問い合わせしやすいと評価され受験者数の伸びに寄与した。

中学生の子ども医療費は自己負担無しにしているが、子育て支援策の総合的な取組みの中で調査・研究していきたい。

市長 県から住民税非課税世帯の未就学児に対して窓口の自己負担を無料にする新制度の概要が示された。課税世帯の中学生の自己負担額無料については、子育て支援策の総合的な取組みの中で調査・研究していきたい。

渡邊 子ども医療費助成は中学校卒業まで拡大されたが、住民税課税世帯

その他の質問

○マイナンバー制度

保育行政

公立保育所の方向性は

市長／実施計画書を作成



神村 次郎



神村 公立保育所等あり
方検討委員会の今後の活
動について方向性を説明
せよ。

市長 アンケートによる
と、公立を選ぶ理由の多
くは通園の利便性であつ
た。

引き続き公立保育所へ
通園させたい希望の保護
者は、私立の半数以上に
対して2割に満たない結
果であった。



▲民営化が予定されている大楠ちびっこ園

今後、設置した委員会
において、保育所等のあ
り方やその将来像につい
て協議し提言書をまとめ
実施計画書を作成する。
その後パブリックコメ
ントを経て、保護者への
説明会を実施する。

年間の校納金の支出は 教育長／学年により異なる

神村 小・中学校の1年
生・6年生、中学2年生
の年間校納金の支出はい
くらになるか。

教育長 小学1年生は1
万2千円程度、6年生は
4万2千円程度、中学2
年生は6万6千円程度で
あり、学年によつて異な
る。

校納金には副教材費、
PTA会費等が含まれて
いる。小学6年生と中学
2年生は修学旅行費が含
まれるため金額が大きく
なっている。
このほか給食費が月額
45000円程度支出され
ている。

維持管理の徹底

市長／粘り強く指導

空き地



洋 峯下



峯下 住宅地に空き地が
存在し、近隣の住民に迷
惑をかけている持ち主に
対して、維持管理を強く
要請することを定期的
に行なうべきと思うが、ど
のように対処するか問う。
市長 周辺の生活環境を
著しく害していると認め
られる敷地等の管理者に
対しては、市民からの通
報により、環境美化条



▲空き地の有効活用

例に基づき指導を行つて
いる。

不動産登記簿情報を収
集し、土地建物等の管理
者を特定した上で、写真
を添えて適正管理を依頼
し、場合によっては改善
勧告、改善命令等も考慮
して粘り強く指導してい
く。

めに、どのような施策を
考えているか。

市長 市では、まち・ひ
と・しごと創生総合戦略
の中で健康に関する個別
指導の充実、各種健診受
診等の推進、地域包括ケ
アシステムの充実、校区
コミュニティ協議会の構
築・育成・支援、地域ス
ポーツの活性化及び高齢
者スポーツの充実などを
掲げている。

安心して暮らせる施策 市長／まち・ひと・しごと創 生総合戦略策定

峯下 市民が住み慣れた
地域でいきいきと安心し
て暮らせるようにするた

水道

ほんどばる 本道原地域に水の供給を

市長／普及整備を図る



堀 広子



堀 空港へ通じる本道原地域は、無水地域であるが、霧島市との協議で供給の可能性が高いとの報告だった。
その後の進捗状況と対策について伺う。
市長 目標年次を平成28年度として協議して前向きに検討するとしていたが、霧島市に新しい工業団地ができたため、給水



▲離合場所のない市道札立・川原線

は困難との回答であった。その回答を受け、この

地域において水源調査や揚水試験、水質調査等を行った。

その後の協議で、本市との境界付近まで企業が埋設した水道管を配水管として霧島市に移管されたことで、この管に接続して本市への給水も可能ではないかとのことであった。
一日も早い水道の普及整備を図っていく。

札立地域の市道改修

市長／協議を行い整備

堀 市道札立・川原線は用水路があり、幅員が狭く車の離合ができず改修の要望が以前から続いている。

どのような対策を考えているのか伺う。

市長 今後、防護柵・離合場所の設置について関係機関と協議を行い、整備していく。

その他の質問

○国民健康保険の都道府県化

市民要望

補助制度でグラウンドゴルフ場を

市長／制度化を検討



小山田 邦弘



小山田 千葉県野田市はグラウンドゴルフ場整備の補助制度を導入している。

利用者に施設整備の一部負担を求めるものだが、市民共働施策として導入できないか。

市長 有効だと思う。下久徳などで候補地はあるので、一部労力の提供があれば、整備が可能になる。

制度化については検討する。

小山田 小・中学校のエアコンをふるさと納税で実現しているところもある。本市も可能ではないか。

市長 ふるさと納税を子



▲グラウンドゴルフは元気の源

ども医療費や健康・長寿支援チケットなどにも活用しようとして検討しており、合わせてエアコンのことも今後検討していく。

小山田 学校のプールを市民プールとして共用することはできないか。

市長 市の施設ばかりでなく、教育関連施設も複合的な活用を進める流れがある。

プールについても借りられるところや運営委託できるところなども含めて検討している。

その他の質問

○観光対策

○新庁舎建設と立地適正化計画

高齢者

生活やゴミ出しの支援

市長／調査・研究する



森川 和美



森川 交通手段を持たない高齢者世帯の生活支援として、移動販売推進と車両の購入に全額助成できないか。
市長 あいら農業協同組合が実施している移動販売に対し、新たな地域からの移動販売に対する要望等の情報提供や、駐車スペース確保の協力など、側面からの支援を行う。



▲待たれるホテル

森川 ゴミ出し困難者支援として事業者または、コミュニティ協議会へゴミ購入の助成をし、ゴミ収集をしてもらう事業の導入は検討できないか。
市長 ゴミ出し支援についての提案は、先進事例等を調査・研究する。

ホテル誘致に再度取り組み 市長／前向きに取り組む

森川 ホテル誘致については失敗に終わったが、今一度、補助金額や各条件等を緩和し、再度取り

組む必要があると思うかどうか。

市長 ホテルの誘致は、都市機能の充実、交流人口の増加、地域商店街の活性化やまちの賑わいにもつながる要因であると認識している。
現在、ホテル事業者へのアプローチも図りつつあり、今後も前向きな姿勢でホテルの誘致問題に取り組む。

その他の質問

○子どもの医療費助成

人事異動

頻繁に変わりすぎ

市長／連続在籍年数は上限を4年



湯元 秀誠



湯元 職員が頻繁に変わり、用をなしていないなど、市民の苦情を聞く。人事異動の基本的な考え方を問う。

市長 新規採用職員は実務で接遇などを学び、概ね3年後に新たな部署への異動を基本とし、その後の連続在籍年数は4年を原則としている。
湯元 頻繁な異動は、専門性の欠如やモチベーションと職務遂行能力を低下させ、新たな習熟コストの費用など、一般社会では考えられない「お役所仕事」になっていないか。
市長 市民の方々への対応力の低下により、不安や不満を抱かせるよう

は行政の向上はない。マネジメント能力を伸ばし、活かす人材育成を進め、市役所の総合力を上げる取組みを行っている。

危険箇所の対応
市長／管理者で撤去
湯元 市道など法肩のりかたの雑木の肥大が進み危険箇所が多いが、対応策を問う。
市長 支障木の伐採を所有者へ依頼し、緊急を要する場合は「道路法第42条」において管理者で撤去する。



▲昼食時間帯でも混み合う窓口業務

空き家対策

取り組みと成果

市長／法に基づく措置を実施



犬伏 浩幸



犬伏 本年2月に「始良市空家等対策計画」が策定されたが、これまでの取り組みと成果を示せ。

市長 解体助成制度や個別相談会の実施、適正管理に関する通知書等を発送した。

成果は、バンク制度への登録が13件で成約が2件、支援事業補助金が申請件数5件で135万円を交付している。

また、解体撤去工事費補助金は、6件の申請に対して、150万円を交付している。

また、適正管理に関する通知書は、29件の発送に対し、7件が適正な処理がなされた。

今後も法に基づく措置を実施していく。

スポーツ施設の計画

市長／フットボールセンター整備に着手

犬伏 スポーツ施設の整備等について計画を示せ。

市長 総合運動公園内に県内では唯一となるフットボールセンターの整備に着手している。作業を進めている「グラウンドゴルフ場」や「弓道場」に合わせて、「温水プール」や「パークゴルフ場」の整備に向けて検討していきたい。

イオンまでの整備

市長／今後の進め方を協議中

帖佐駅



谷口 義文



谷口 帖佐駅からイオンタウンに通じる県道は、本市の「顔」といえる。

先日、鹿児島県知事が本市を来訪され帖佐駅からイオンタウンまでの県道を現地調査されたが、どのような協議や計画が示されたか。

市長 知事からは、帖佐駅から旧国道10号までの歩道新設については、必



▲県道の歩道整備

要性は十分に理解しており、まちづくりの主体である始良市と意見交換を行い、知恵を絞りながら対応する。

また、県議会一般質問に対し、旧国道10号から商業施設までの歩道のリニューアルなどについて、カラー舗装等の歩道の高質化や街路樹の植え替えなど来年度からの整備について検討を指示したところであると答弁された。

現在、この区間について始良・伊佐地域振興局と本市において、今後の

進め方を協議しているところである。

その他の質問

○旧サンピアあいら

○土地利用

▲空き家の利活用でまちを元気に（南九州市の額姪町）



議会と語る会

あなたの声を
市政に反映



▲市民の皆さんと議員が車座対話（蒲生農作業準備休憩施設）



▲新庁舎建設に多くの意見が出されました

始良市議会では、開かれた議会として、市政に関する情報を市議会独自の視点から市民の皆様にお知らせし、市民と議会が自由に意見交換する場として「議会と語る会」を開催しています。

今回は、台風のため開催が延期された蒲生地区のお知らせをします。

11月13日、蒲生農作業準備休憩施設で実施しました。

蒲生農作業 準備休憩施設

市に対する主な要望

市民 道路のセンターラインなどの白線が消えたり、薄くなっている危険。議会 市道に関しては、白線が著しく薄い所から優先的に補修している。

市民 大山区は大型車の往来が多い。県道に民有地の木が覆いかぶさつ

ており、それを避けて大型車が道路中央を走るため、大変危険である。

議会 民有地の木の伐採は所有者になるが、緊急の場合、道路管理者が車から届く範囲で伐採するケースもある。

市民 倒壊寸前の住宅がある。補助金の増額や早急な対応をすべきである。空き家を壊すのに200万円以上かかる。

議会 2年前は補助金制度がなかったことから、

上限30万円ではあるが大きな前進である。

新庁舎建設に対する意見

○本庁に集約されると市民と行政、市民と職員とのつながりが弱くなると懸念する。本市全体の将来を考えると、現在の方式を継続する方が良いと確信している。

○福祉センターの利用は、各種団体に重なることが多いため、複合施設になり良い施設になることを希望する。

○効率だけで決めないでほしい。職員を集中することについて、納得できる説明をしてほしい。

政務活動費に対する意見

○金額のことはよくわからないが、趣旨・目的・報告などが適正に処理されるなら賛成。

○正当な資料提出などがあれば、賛成。



女性 (40代)

障がいを持つ子どもだけではなく、すべての子ども達に“人格を育てていく”環境づくりを願っております。“日本一住みやすいまちづくり”私達に胸を張って周りに言わせてください。



男性 (40代)

一般質問のときに多少私語をしている議員がいましたが他議会に比べると居眠りをしている議員が少ない。議会中に新聞の切り抜きを読んだり本をめくったりする議員はいなかったが、子ども医療費に関する大事な質問のところでの私語は目に余りました。

傍聴席から



男性 (40代)

満足のいく答弁が得られていないのに、質疑が進んでいるように見受けられた。議員さんは、もう少し突っ込んで、また勉強した上で質問してほしい。意見を述べるのではなく、市政が正常に運営されているか、日程を含む計画が推進されているか、問うてほしい。



男性 (60代)

市民には、個々の議員の活動。市議会の活躍が見えづらい。他市に先がけて夜の議会や土日の議会開催を会期中1～2回ぜひ実現してもらいたい。



女性 (60代)

初めて来ました。素人の私でもとてもわかりやすい説明で納得できました。もう少し多くの方が足を運んでもらえたら、まだ盛り上がるのではと思う事でした。

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

平成30年第1回定例議会は、2月20日から3月20日まで開催予定

一般質問は2月22日からの予定です。

自治会回覧でもご案内いたします。

今期、最後の定例会です。多くの方の傍聴をお待ちしております。



編集後記

議会だよりは、12名の委員が約10日間かけて限られた紙面の中に読みやすく、公平に正確に基本に携わってきました。反省点としては、一般質問者が多いことから、委員会や陳情及び請願書に対しての議論内容そして、予算の賛否を各議員ごとにあきらかにできないところが残念に感ずる思いがあります。今後、委員構成メンバーは変わっても読みたくなるような紙面づくりに努力してまいります。広報班 森川 和美

明けましておめでとうございます。一般質問者の文面チェック担当に携わり、最初は規定文字数内に文面を納めるのに苦労しました。短文で意思を相手に伝えることの難しさを学び、文面作成者の一人ひとりの人間模様や、力量を知ること、自己の奮起につながり前進できました。議員一人ひとりの良い点を生かし合うと素晴らしい始良市づくりに貢献できると捉えました。残りの期間を感謝で努めます。広報班 堂森 忠夫

編集・発行責任者

議長 湯之原 一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

委員長 峯下 洋

副委員長 渡邊 理 幸

委員 犬伏 浩 幸

和川 逸 郎

湯川 愛 子

新福 次 郎

神村 和 美

森川 弘

東馬場 出 弘

竹下 邦 志

山下 田 忠 夫

堂森 忠 夫

#最初は漢字で「始良」だったんだね～ #創刊号だけは「あいら」が縦書きだね

#平成30年に創刊30号 ｷﾀｰ(°▽°)ｰ!

#表紙の写真選びは毎回苦勞してるらしい

#実はこのほかにも臨時号があと1つあるらしい

#22号は作者の**こだわり**で全面写真になったようだ



#26号と27号はなんとなく似ている

#毎号季節感には結構気を使っている

#子どもたちの笑顔は最強だ(´▽`) #いくつかの**笑顔**があるかだれか数えて欲しい

#やっぱり青空はいいなあ #とじ穴、使ってるのかなあ～

#次号は臨時号で5月あたりに発行されるようだ

あいら市議会だより
No. 30

平成30年1月31日発行